

(オプトアウト)

## 米沢市立病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の間合せ先にお問合せください。

研究課題名	出血性胃潰瘍における来院後不良転帰に対する予測因子について
該当者	下記期間内に当院救急外来を受診された出血性胃潰瘍の患者様
当院の研究責任者	米沢市立病院 外科 千葉 裕仁、佐藤 佳宏
研究代表者	米沢市立病院 外科 千葉 裕仁、研修医 石井 芳樹
本研究の目的	近年外傷領域で、来院時の血圧や脈拍から、搬送後の不良転帰(出血性ショック、大量輸血、緊急手術など)を予測できるとの研究が報告されています。消化管出血(出血性胃潰瘍、出血性十二指腸潰瘍、食道静脈瘤破裂など)の非外傷性の出血でも同様の傾向が見られると予想されますが、今回出血性胃潰瘍の患者様を対象に、背景因子(年齢・性別・基礎疾患など)や来院時の症状・バイタルサイン(血圧・脈拍など)、検査所見などの組み合わせから、経過中の出血性ショック、輸血の必要性、生存退院に関与する因子を特定できるかを目的とします。
実施予定期間	2004年1月から2020年10月まで
研究の方法	上記患者様の来院時の電子カルテの記録より、年齢・性別・基礎疾患や常用薬等の背景データ、来院時の症状やバイタルサイン(血圧、脈拍など)、

	<p>検査所見(血液検査、内視鏡所見等)、転帰(経過中の出血性ショックの有無、輸血の有無・量、退院時の状態など)についての情報を抽出します。</p> <p>それらの情報を用いて統計学的な解析を行います。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	電子カルテから上記情報を抽出します。
外部への試料・情報の提供・公表	外部への資料・情報の提供・公表はありません。
個人情報の取扱い	<p>利用する情報から、氏名や住所等の個人を直接特定出来る情報は全て削除および匿名化します。</p>
利益相反	本研究に関し開示すべき利益相反はありません。
お問合せ先	米沢市立病院 0238-22-2450 (代表)